

＜記入例⑤＞ 学校 × 校舎内避難可能タイプ

【学校名称〇〇〇〇】

土砂災害警戒避難確保計画

作成年月日：2019年5月

1. 計画の目的

この計画は、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(以降、「土砂災害防止法」と称す)第八条の二第1項に基づくものであり、本施設の利用者の土砂災害時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

2. 計画の報告

計画を作成及び必要に応じて見直し・修正をしたときは、土砂災害防止法第八条の二第2項に基づき、遅滞なく、当該計画を市町村長へ報告する。

3. 計画の適用範囲

この計画は、本施設に勤務又は利用する全ての者に適用するものとする。

【施設の状況】

人 数			
昼 間・夜 間		休 日	
生徒	教職員	生徒	教職員
昼 間	昼 間	休 日	休 日
約 90 名	約 20 名	約 30 名 (部活動など)	約 10 名
夜 間	夜 間		
約 一 名	約 一 名		

4. 土砂災害の危険性および避難対応の把握

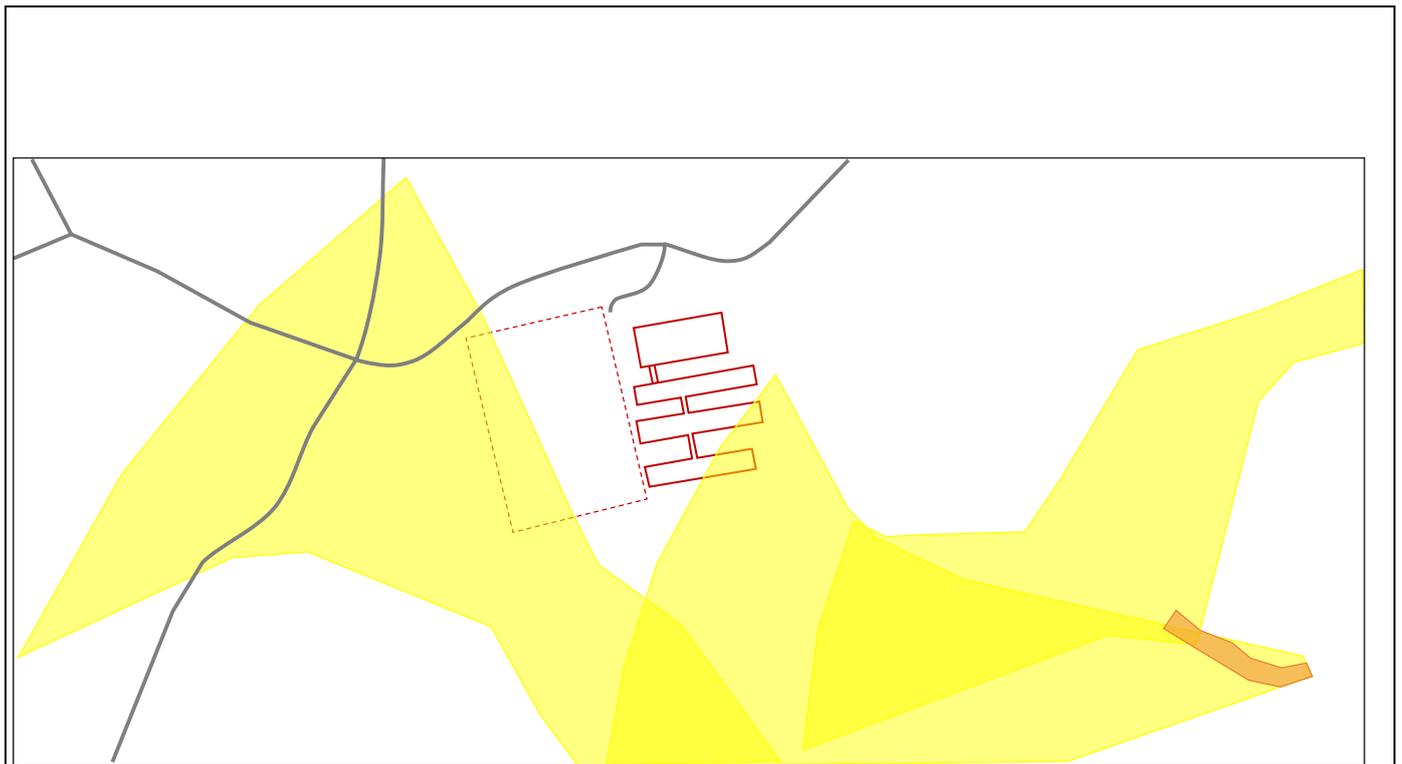
土砂災害の危険性について、様式 1-1 に本施設周辺の土砂災害警戒区域等を整理するとともに、状況を加味した避難対応を様式 1-2 に示す。

■当該施設で想定される土砂災害の危険性

【主担当： 教育委員会 】

本施設周辺の土砂災害警戒区域等を下図(または別紙)に示す。

年 月 日作成



土砂災害警戒情報5kmメッシュ メッシュ番号

999

■当該施設の避難タイプ(総合判断表)

【主担当： 教育委員会 】

本施設の避難タイプを下表に示す。

年 月 日作成

		施設の立地・構造・階数条件に応じた避難タイプ	
		A	B
利用者や運営体制からみた避難行動実施可能性	ア	<p>■施設外避難原則タイプ</p> <p>施設外への避難が原則です。ただし、以下の点に留意する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none">・台風や移動性低気圧など、ある程度降雨の予想ができる場合が望ましい・避難受入先との連携が必要となる・避難中に被害に遭うリスクがある	<p>■施設内避難可能タイプ</p> <p>施設内での避難が可能です。ただし、以下の点に留意する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none">・想定を超えた被災をする可能性がある・停電等に伴う施設機能の低下によって想定した避難ができない場合がある・孤立被害につながる可能性がある
	イ	<p>■施設外避難原則タイプ(準備段階)</p> <p>施設外への避難が必要な立地・構造・階数の条件にありますが、利用者や運営体制面で避難が困難です。</p> <p>状況を改善するには、スタッフを増やして利用者に見合った運営体制を実現するか、外部機関・施設による支援体制を強化する等の方策により「施設外避難原則タイプ」を目指すことが考えられます。</p>	<p>■施設内避難可能タイプ(準備段階)</p> <p>施設内での避難が必要な立地・構造・階数の条件にありますが、利用者や運営体制面で避難が困難です。</p> <p>状況を改善するには、スタッフを増やして利用者に見合った運営体制を実現するか、外部機関・施設による支援体制を強化する等の方策により「施設内避難可能タイプ」を目指すことが考えられます。</p> <p>また、体制はそのままであっても、設備の改良や避難対象となる利用者の入居形態の見直し等を行うことにより、状況を改善することも考えられます。</p>

本施設は 施設(校舎)内避難可能タイプ です。

■土砂災害に対する状況想定

本施設で考えられる要配慮者の避難対応が必要となるような土砂災害発生時の状況を、下記に整理する(該当するチェック欄にチェック)。

また、それぞれの想定に応じて、様式 2-1(様式 2-2)に参集基準及び体制を整理する。

□当施設は入所系施設であるため、下記の状況を想定し、 様式 2-1 に参集基準及び体制、避難(待避)基準を示す

- 想定1. 天候悪化などにより、避難(待避)対応が必要となる状況
- 想定2. 台風接近などによりあらかじめ状況が想定でき、
昼間から夕方にかけて避難(待避)対応が必要となる状況
- 想定3. 台風接近などによりあらかじめ状況が想定でき、
夜間から明け方にかけて避難(待避)対応が必要となる状況

☑当施設は通所系施設・学校であるため、下記の状況を想定し、 様式 2-2 に参集基準及び体制、避難(待避)基準を示す

- 想定4. 台風接近などによりあらかじめ状況が想定でき、
施設・学校を事前に休所・休校する対応がとれる状況
- 想定5. 台風接近などによりあらかじめ状況が想定でき、
通常通りに施設・学校を開けているが、施設・学校を休所・休校する対応がとれる状況

(様式2①)

■役割分担表 【主担当： 学校長】

年 月 日作成

<当該施設>

担当	業務内容	担当者	備考
総括責任者	<input checked="" type="checkbox"/> 総括責任(避難判断、防災対応についての指揮ほか全般) <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 総括責任者： 学校長 <input type="checkbox"/> 代理①： <input type="checkbox"/> 代理②：	
情報収集・連絡班	<input checked="" type="checkbox"/> 気象・災害の情報収集 <input checked="" type="checkbox"/> 職員への連絡、職員・職員家族の安否確認 <input checked="" type="checkbox"/> 関係機関との連絡・調整 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者家族への連絡 <input type="checkbox"/> 地域住民やボランティア団体、近隣の社会福祉施設への救援要請等 <input checked="" type="checkbox"/> 避難状況のとりまとめ <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> リーダー： 教頭 <input type="checkbox"/> 代理①： <input type="checkbox"/> 代理②： <input type="checkbox"/> メンバー：	
避難誘導班	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者の安全確認 <input checked="" type="checkbox"/> 施設、設備の被害状況確認 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者への状況説明 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の避難誘導 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の家族への引き渡し <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> リーダー： 教員 <input type="checkbox"/> 代理①： <input type="checkbox"/> 代理②： <input type="checkbox"/> メンバー：	
物資班	<input type="checkbox"/> 物資の普段からの維持管理 <input checked="" type="checkbox"/> 物資の運搬 <input checked="" type="checkbox"/> 物資の被災時の管理 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> リーダー： 教員 <input type="checkbox"/> 代理①： <input type="checkbox"/> 代理②： <input type="checkbox"/> メンバー：	

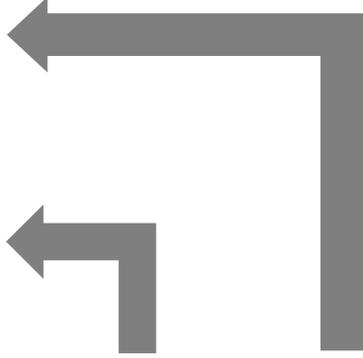
<協力施設>

担当	業務内容	協力施設・担当者	備考
	<input checked="" type="checkbox"/> 当該施設へ職員を派遣し、災害支援にあたる <input checked="" type="checkbox"/> 避難者の受入れを担当する <input type="checkbox"/>	教育委員会事務局職員	

■ 参集基準及び体制、休所・休校判断基準【主担当：学校長→教育長】

年 月 日 作成

	想定4 台風接近などによりあらかじめ状況が想定でき、 <u>施設・学校を事前に休所・休校する対応がとれる</u>	想定5 台風接近などによりあらかじめ状況が想定でき、 <u>通常通りに施設・学校を開けているが、</u> <u>施設・学校を休所・休校する対応がとれる</u>	※想定5の状況から 急激に事態が進展するなどして <u>避難(待避)対応が必要となった場合の</u> 避難(待避)基準
体制 第一次体制 今後の状況を備えて情報を収集したり、関係者間に連絡をとったりできる体制	参集基準 □ 近隣市町村で大雨注意報が発表 □ 前日から対応 □ 夜間から対応 □ () □ ()	出動体制 □ 総括責任者 □ 情報収集・連絡班 □ 避難誘導班 □ 物資班 □ () □ ()	参集基準 □ 近隣市町村で大雨注意報が発表 □ 前日から対応 □ () □ ()
第二次体制 施設休所や学校休校の判断をおこなえる体制	参集基準 □ 大雨注意報が発表 □ 前日から対応 □ 夜間から対応 □ () □ ()	出動体制 □ 総括責任者 □ 情報収集・連絡班 □ 避難誘導班 □ 物資班 □ () □ ()	参集基準 □ 大雨注意報が発表 □ 朝から対応 □ () □ ()
第三次体制 施設利用者や子どもの送迎や引き渡しを開始できる体制	参集基準 □ 大雨警報(土砂災害)が発表 □ 朝から対応 □ 昼から対応 □ (判断基準に達した時)	出動体制 □ 総括責任者 □ 情報収集・連絡班 □ 避難誘導班 □ 物資班 □ (教職員)	参集基準 □ 大雨警報(土砂災害)が発表 □ 朝から対応 □ 昼から対応 □ (判断基準に達した時)
休所・休校判断基準	□ 避難準備・高齢者等避難開始が発令 □ 土砂災害警戒情報が発表 □ 累積雨量が()mmを超過 □ 時間雨量が()mmを超過 □ 前兆現象を確認 □ (台風等気象情報から、学校長が教育長と協議し判断)	□ 避難準備・高齢者等避難開始が発令 □ 土砂災害警戒情報が発表 □ 累積雨量が()mmを超過 □ 時間雨量が()mmを超過 □ 前兆現象を確認 □ (台風等気象情報から、学校長が教育長と協議し判断)	□ 避難準備・高齢者等避難開始が発令 □ 土砂災害警戒情報が発表 □ 累積雨量が()mmを超過 □ 時間雨量が()mmを超過 □ 前兆現象を確認 □ (台風等気象情報から、学校長が教育長と協議し判断)



■情報収集・伝達事項の整理

本施設に関わる災害の危険性などを把握するために情報収集をおこなうとともに、職員や外部機関、利用者家族などへの情報伝達をおこなうことで、円滑かつ迅速な避難誘導へと繋げること目指し、情報収集・伝達事項について、下記に整理する。

(1) 情報収集及び情報伝達を担う担当者

- ・様式 2① に示す「情報収集・連絡班」を基本とする
- ・夜間や休日など通常体制と異なる場合は、「情報収集・連絡班」が参集するまで在勤者が役割を担う
- ・そのほか
()

(2) 情報収集

- ・収集する主な情報及び収集方法を、様式 3-1 に整理する。
- ・基本的には、下記のような情報を対象とする。
 - “気象情報”・“避難情報”などの行政からの情報
 - “雨量”などの実測値
 - 施設周辺で確認される“土砂災害の予兆現象”など
- ・そのほか
(学校で利用しているメールメイトを活用する)

(3) 情報伝達

- ・入手情報の伝達・共有ルートを様式 3-2 に整理する。
- ・また、外部機関との連携が想定される場合には、あらかじめその旨を相談し、緊急連絡先として整理する。
- ・そのほか
()

■ 入手情報の概要・入手方法等

【 主担当：情報収集・連絡班 】

(様式3-1)

年 月 日 作成

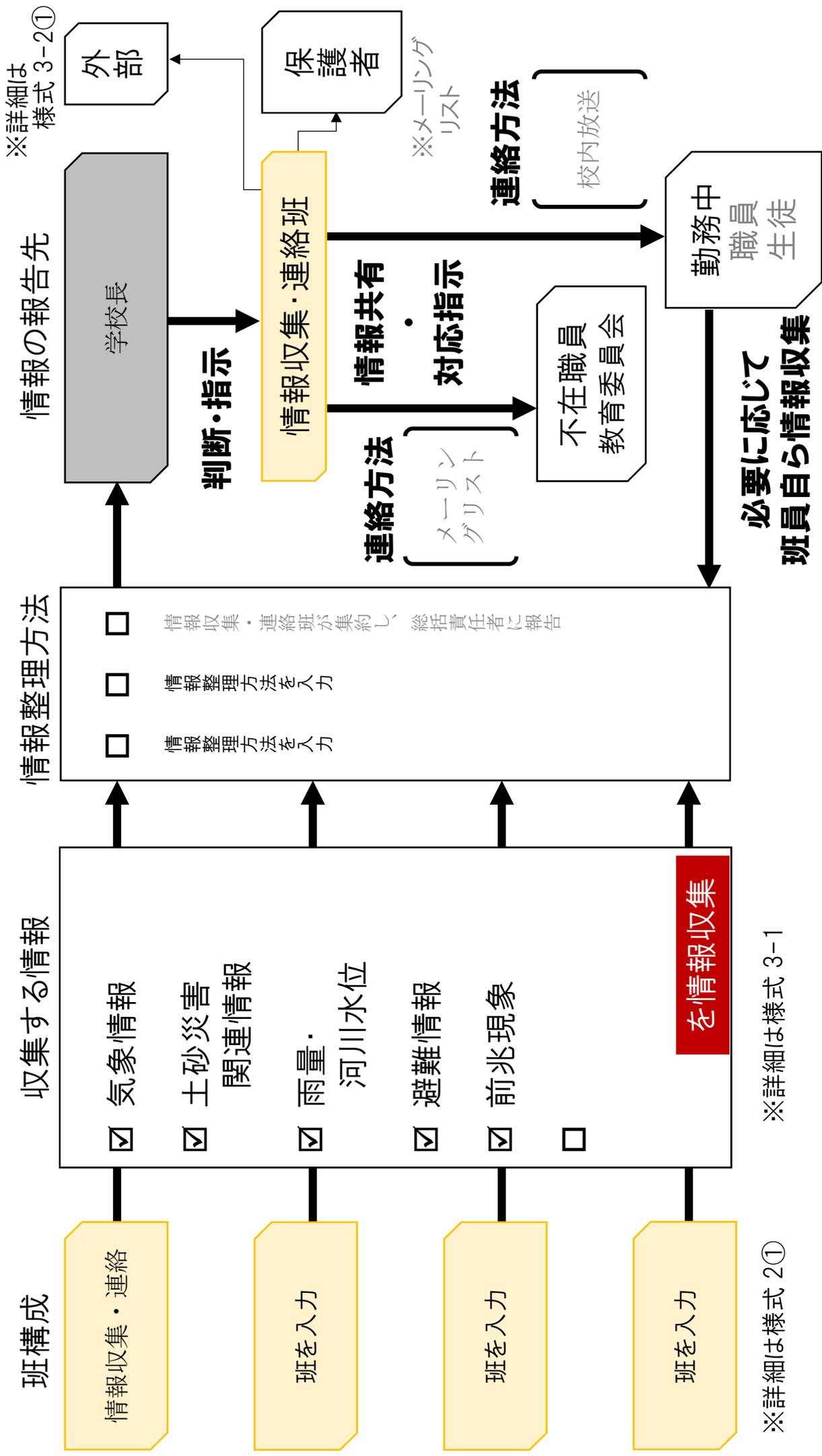
※事前にウェブサイトをお気に入り登録するなどして、緊急時に備える【使用するPC: 〇〇】

情報名		概要	活用場面	主な入手方法	備考
気象情報	大雨注意報／ 大雨警報／ 大雨特別警報	災害がおこるおそれのあるときに気象庁が発表する 雨の強さを表した基準	<input checked="" type="checkbox"/> 体制の移行 <input checked="" type="checkbox"/> 避難判断 <input type="checkbox"/>	テレビ、ラジオ、 ウェブサイト その他()	
	記録的短時間大雨情報	数年に一度程度しか発生しないような大雨時に発 表。現在の降雨が災害の発生につながる可能性が あることを意味する	<input checked="" type="checkbox"/> 体制の移行 <input checked="" type="checkbox"/> 避難判断 <input type="checkbox"/>	テレビ、ラジオ、 ウェブサイト その他()	
	天気予報・台風情報・ 雨雲の様子等	数日・週間単位の天気の移り変わりを把握するため に特に重要となる情報	<input checked="" type="checkbox"/> 体制の移行 <input checked="" type="checkbox"/> 避難判断 <input type="checkbox"/>	テレビ、ラジオ、 ウェブサイト その他()	
土砂災害 関連情報	土砂災害警戒情報	大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、危 険度がさらに高まったときに、市町村単位で警戒を よびかける情報	<input checked="" type="checkbox"/> 体制の移行 <input checked="" type="checkbox"/> 避難判断 <input type="checkbox"/>	テレビ、ラジオ、 ウェブサイト その他()	
	土砂災害警戒判定 メッシュ情報	土砂災害警戒情報、大雨警報等を補足する情報。 5km四方の領域(メッシュ)ごとに土砂災害発生の 危険度を5段階に判定した結果を表示	<input checked="" type="checkbox"/> 体制の移行 <input checked="" type="checkbox"/> 避難判断 <input type="checkbox"/>	ウェブサイト その他()	
	土砂災害の予兆現象	土砂災害発生前には、予兆現象が確認されること がある。各種情報が発表・発令されていない状況 においても有益な情報として活用できる	<input checked="" type="checkbox"/> 体制の移行 <input checked="" type="checkbox"/> 避難判断 <input type="checkbox"/>	施設職員の目視、 ライブカメラ その他()	
雨量・ 河川水位	雨量情報	現状の雨量及び過去3日程度の雨量(累計雨量) が確認できる(一定の雨量が長期間継続している 場合等注意が必要)	<input checked="" type="checkbox"/> 体制の移行 <input checked="" type="checkbox"/> 避難判断 <input type="checkbox"/>	テレビ、ラジオ、 ウェブサイト その他()	
	河川水位情報	現状の水位及び過去1日程度の水位変化が確認 できる(一定の基準以上の水位上昇が確認できる 場合等注意が必要)	<input checked="" type="checkbox"/> 体制の移行 <input checked="" type="checkbox"/> 避難判断 <input type="checkbox"/>	テレビ、ラジオ、 ウェブサイト その他(沢の状況を目視)	
避難情報	避難準備・高齢者等避難 開始／避難勧告／避難指 示(緊急)	市町村から発令される避難の基準。要配慮者施 設等では早めの避難が求められている。	<input checked="" type="checkbox"/> 体制の移行 <input checked="" type="checkbox"/> 避難判断 <input type="checkbox"/>	テレビ、ラジオ、 ウェブサイト その他()	

■入手情報の伝達・共有ルート【主担当：情報収集・連絡班】

(様式3-2)

年 月 日 作成



※詳細は様式 2①

※詳細は様式 3-1

■施設利用者把握資料 【主担当： 教頭 】

年 月 日作成

①利用者一覧表(基本情報) ※生徒名簿を使用

番号	部屋	氏名	生年月日	性別	移動時の支援の可否

②利用者一覧表(個票)

番 号		
部 屋		
氏 名		
生年月日		
性 別		
心身の状態		
服用中の薬		
搬送方法		
避難に係る留意事項		
連絡先1	氏 名	
	続 柄	
	電 話	
連絡先2	氏 名	
	続 柄	
	電 話	

■緊急時の避難誘導

避難誘導については、下記のとおり行う。

(1) 避難場所

- ・避難場所の名称を下表に整理するとともに、様式 4-1 または 様式 4-2 で図示する。

(2) 避難経路

- ・避難経路について 様式 4-1 または 様式 4-2 で図示する。

(3) 避難誘導

- ・避難場所までの移動距離及び移動手段を下表に整理する。

施設タイプ チェック (5ページ結果)	避難 方法	避難場所	移動 距離	移動 手段
	施設外 避難 原則		() m	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 車両 ()台
✓	施設内 避難 可能	体育館		

※ 施設外避難が原則な場合においても、大雨等で施設外避難が困難だと想定される場合には、施設内で比較的安全と思われる場所へ待避を行う。

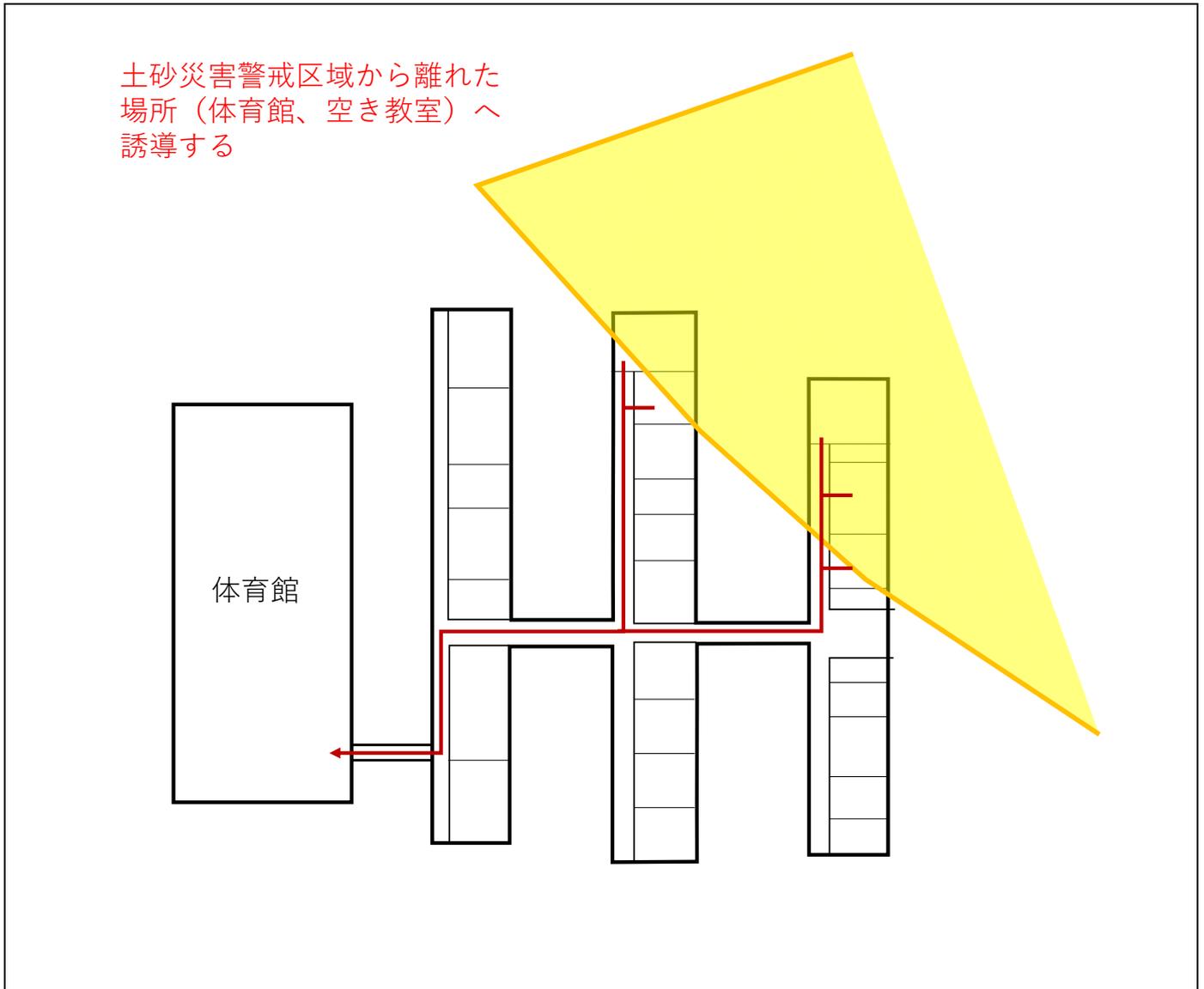
※ 施設内待避が可能な場合においても、今後の状況悪化に不安がある場合などにおいては、避難時間に余裕がある場合のみ施設外避難を行う。

施設内待避

■待避ルートと留意点 【主担当：避難誘導班】

施設内待避時のルートと待避の際の留意点を下図(または別紙)に示す。

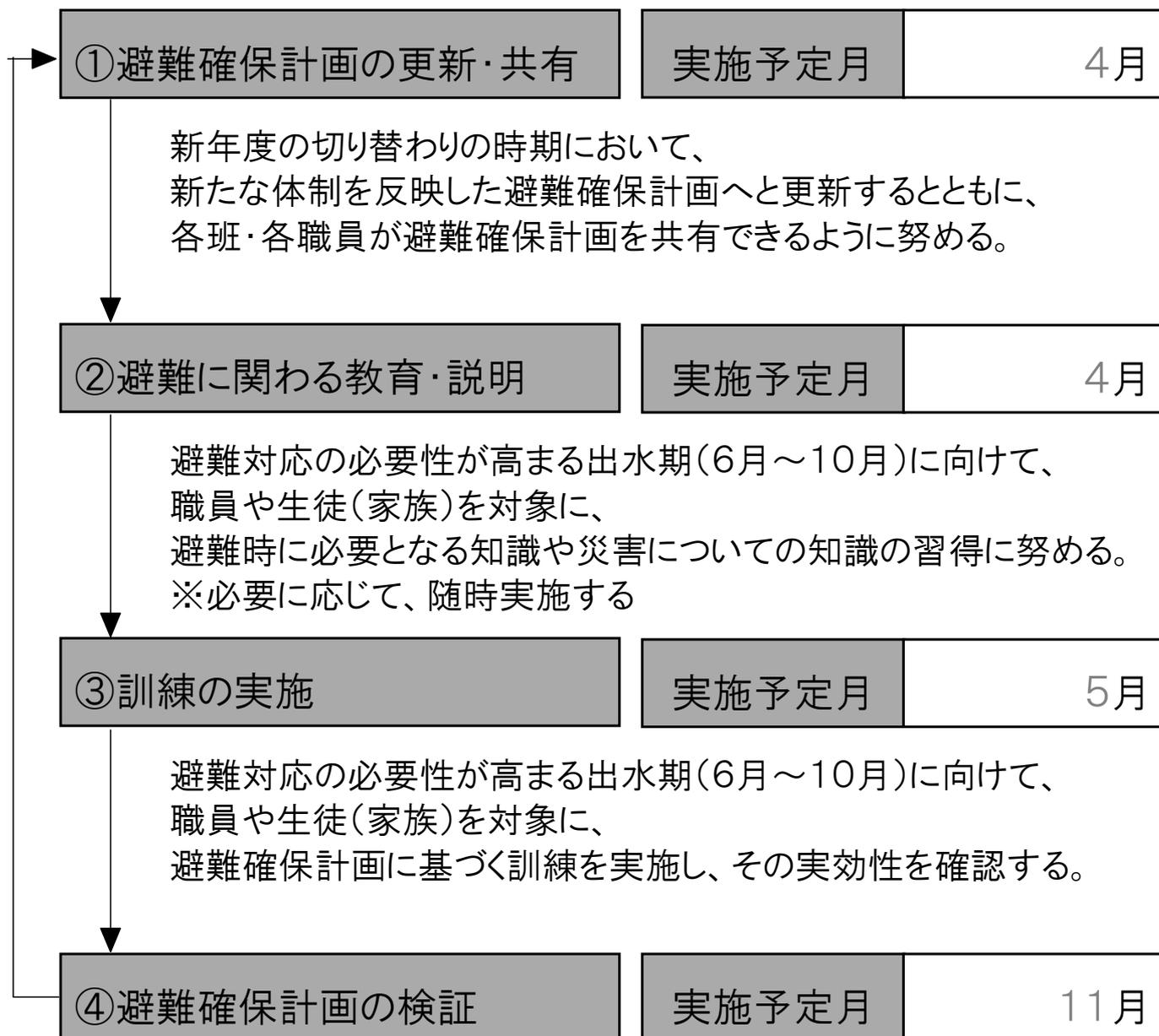
年 月 日作成



施設内 待避場所	体育館 空き教室

■教育・訓練の年間計画

下記のとおり、教育・訓練を実施する。なお、具体の月日や内容については、施設の状況を勘案しその都度検討することとする。



上記の“避難に関わる教育・説明”、“訓練の実施”や、
出水期(6月～10月)の対応を踏まえて、避難確保計画の
実効性について検証をし、課題や問題の解決に努める。